



ボーリング柱状図

調 査 名

ボーリングNO.

事業・工事名

シートNO.

ボーリング名	No.4		調査位置							北緯	36° 21 ' 09.0000 "				
発注機関	栃木県栃木土木事務所				調査期間	2007-03-13 ~ 2007-03-13					東経	139° 50 ' 28.0000 "			
調査業者名			主任技師				現場代理人			コ ン 定 者			ボーリング責任者		
孔口標高	43.44 m	角	180° 上		方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 	使用機種			ハンマー 落下用具			
総掘進長	6.45 m	度	0° 下	0.00°					エンジン			ポンプ			

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分 ／ 孔内水位(m) ／ 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日
											深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量 (cm)	深度	試験名および結果	深度	試料採取方法		
												0	10	20							
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)			(m)							
					盛土(粘性土)(C)	暗茶褐			上部20cmは碎石 粘性土主体で礫を混入する												
1	42.29	1.15	1.15		腐植土(Pt)	黒褐		非常に軟らかい	含水分多い 粘性弱い 腐植物を多く混入する		03/13 2.15 ▽	1.00	00 50	00 50							
	41.69	0.60	1.75		粘土(CH)	淡褐灰			含水分多い 粘性やや強い 腐植物(所々多く混入)、軽石混入			1.50									
2	41.09	0.60	2.35		砂混じり粘土(CH-S)	淡褐灰			含水分多い 粘性やや強い 所々、2-5mmの軽石混入			2.15	0 20	1 20	1 40						
	40.54	0.55	2.90		砂礫(GS)				含水分多い 礫は 5-30mm程度の亜円礫主体 上部は粘土分を混入する 4.00m付近より暗緑灰色となる マトリックスは粗砂主体 6.00m付近より暗灰色となりシルトの薄層を挟む			2.55				23	30				
3												3.15									
						暗茶灰～暗緑灰～暗灰		中くらい				3.45	8	7	8			23			
4												4.15						38	30		
												4.45									
5												5.15						29	30		
												5.45	9	9	11						
6	36.99	3.55	6.45									6.15									
												6.45	9	8	6			23	30		